

1 衛生検査・環境検査

(1) 衛生研究所業務

衛生研究所では、公衆衛生及び環境保全に係る微生物、理化学の各分野の試験検査業務を実施しています。

検査には、保健所等市の事業に基づく行政検査（感染症、食中毒、苦情・相談等への対応を含む）と市民や事業所等からの依頼に基づき実施する依頼検査があります。

また、各検査の信頼性を維持するための精度管理を実施しています。

業務内容は、次のとおりです。

【公衆衛生に係る業務】

種 類	内 容
性感染症検査	行政検査として、HIV、梅毒、性器クラミジアの検査を実施
感染症発生動向調査	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」という。）第14条（病原体定点調査）に基づき病原体定点で採取した検体及び同法第15条（積極的疫学調査）に基づき搬入された検体の病原体の分離・同定を実施
感染症法に基づく健康診断	感染症法第17条に基づき、健康診断として感染症患者の陰性化確認、接触者等の検便及び結核（QFT）検査等を実施
食中毒検査	糞便、食品等からの病因物質の検索、原因食品の究明
食品の微生物学及び理化学検査	食品中の微生物、添加物、動物用医薬品、残留農薬、重金属等について、行政検査を実施
薬事検査	いわゆる健康食品中の医薬品成分検査を実施
水道水、井戸水等の水質検査	依頼検査として、水質基準適合検査を実施
公衆浴場浴槽水等の水質検査	行政検査として、レジオネラ属菌等の水質基準適合検査を実施
家庭用品検査	行政検査として、繊維製品、洗剤等の中の有害物質検査を実施
放射性物質に関する検査	食品、簡易水道等から供給される水等の放射性物質に関する検査を実施
苦情、相談等に関する検査	食品等の劣化や異物混入等に関する検査を実施
精度管理	検査精度維持のため各種検査について、精度管理を実施
衛生に係る調査研究	国との共同研究事業及びデング熱等媒介蚊サーベイランスを実施
公衆衛生情報の収集、解析及び提供	感染症情報センターを設置し情報発信を実施

【環境保全に係る業務】

種 類	内 容
工場排水等の水質検査	水質基準適合検査等を実施

(2) 検査実施状況

臨床・食品・環境等検体の微生物学試験、理化学試験を実施しました。

		総検体数	総項目数	一般依頼検査		行政検査		その他*1		
				検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数	
合計		2,732	18,191	74	1,025	2,485	16,309	173	857	
性感染症検査	梅毒	407	814			407	814			
	性器クラミジア	401	802			401	802			
	HIV	460	460			460	460			
感染症法	発生動向調査	病原体定点	細菌	6	6		6	6		
		ウイルス	73	204		73	204			
	積極的疫学調査	細菌	34	34		34	34			
		ウイルス	88	184		88	184			
	健康診断(結核を除く)		細菌	32	32		32	32		
	健康診断		結核	176	176		176	176		
食中毒検査*2		36	547			36	547			
食品	微生物学検査		324	745			324	745		
	理化学検査		262	11,754			262	11,754		
環境検査	水質検査	水道水、井戸水等	71	1,016	71	1,016				
		浴槽水等	106	343			106	343		
		排水等*3	67	516					67	516
	家庭用品		60	148			60	148		
	悪臭		0	0						
放射性物質に関する検査	食品検査		66	230	3	9	20	60	43	161
	簡易水道等から供給される水の検査		20	60					20	60
	その他*4		14	42					14	42
苦情検査		16	39					16	39	
デング熱等媒介蚊のサーベイランス		13	39					13	39	

*1：市の機関からの依頼検査及び調査研究等

*2：ふきとり検査を含む

*3：工場排水、地下水、排水自主検査等

*4：清掃施設関連等

2 検査実施内訳

(1) 性感染症検査

性感染症である HIV、梅毒、性器クラミジアの検査を実施しました。

項目		検査件数
梅毒	RPR	407
	TPHA	407
性器クラミジア	抗体検査 (IgA)	401
	抗体検査 (IgG)	401
HIV *1	抗体検査	460
合計		2,076

*1 即日検査 50 件を含む。

(2) 感染症法に基づく検査

感染症発生動向調査事業による病原体定点で採取した臨床検体から病原体の分離・同定を実施しました。

また、疾病対策課の依頼により、感染症発生時に、積極的疫学調査及び健康診断として海外渡航者等の原因者やその接触者の検便などの臨床検体の検査を実施しました。

ア 感染症発生動向調査 (病原体定点) 細菌

(ア) 月別細菌分離・同定状況

		合計	検出月 (検体採取月)											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検査件数		6	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0
陽性数		6	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0
分離細菌	A 群溶血性レンサ球菌 T1 型	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T4 型	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T12 型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T25 型	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 TB3264 型	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T 型別不明	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(イ) 疾病名別細菌分離・同定状況

	合計	疾病名				
		A 群溶血性 レンサ 球菌咽頭炎	百日咳	細菌性 髄膜炎	感染性 胃腸炎	
検査件数	6	6	0	0	0	
陽性数	6	6	0	0	0	
分離細菌	A 群溶血性レンサ球菌 T1 型	2	2	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T4 型	2	2	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T12 型	0	-	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T25 型	1	1	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 TB3264 型	1	1	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T 型別不明	0	0	-	-	-

イ 感染症発生動向調査（病原体定点）ウイルス

(ア) 月別ウイルス分離・同定状況

	合計	検出月（検体採取月）												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
検査件数	73	5	3	1	5	1	3	5	11	15	14	9	1	
陽性数	66	5	2	0	5	1	3	5	10	13	13	8	1	
分離ウイルス	インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型	42	1	-	-	1	1	-	4	10	12	11	2	-
	インフルエンザウイルス AH3 亜型	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型及び AH3 亜型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B 型山形系統	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B 型ビクトリア系統	14	4	2	-	-	-	-	-	-	-	1	6	1
	インフルエンザウイルス B 型系統不明	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	ノロウイルス	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	サポウイルス	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 3 型	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
	アデノウイルス 4 型	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 54 型	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	ロタウイルス A 群	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A2 型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A4 型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A5 型	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A6 型	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コクサッキーウイルス A16 型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(イ) 疾病名別ウイルス分離・同定状況

	合計	疾病名							
		インフルエンザ	感染性胃腸炎	咽頭結膜熱	手足口病	ヘルパンギーナ	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	無菌性髄膜炎
検査件数	73	65	0	3	0	2	3	0	0
陽性数	66	59	0	2	0	2	3	0	0
分離ウイルス	インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型	42	42	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス AH3 亜型	2	2	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型及び AH3 亜型	0	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B 型山形系統	0	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B 型ビクトリア系統	14	14	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B 型系統不明	1	1	-	-	-	-	-	-
	ノロウイルス	0	-	-	-	-	-	-	-
	サポウイルス	0	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 3 型	2	-	-	2	-	-	-	-
	アデノウイルス 4 型	2	-	-	-	-	-	2	-
	アデノウイルス 54 型	1	-	-	-	-	-	1	-
	ロタウイルス A 群	0	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A2 型	0	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A4 型	0	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A5 型	2	-	-	-	-	2	-	-
コクサッキーウイルス A6 型	0	-	-	-	-	-	-	-	
コクサッキーウイルス A16 型	0	-	-	-	-	-	-	-	

(ウ) インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型を対象とした薬剤耐性株の遺伝子解析

	合計	検出月（検体採取月）											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
タミフル耐性株数 *1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
タミフル感受性株数 *2	39	1	-	-	1	1	-	4	10	12	8	2	-
判定不能数	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-

*1：タミフルが効かない、あるいは効きにくいインフルエンザウイルス

*2：タミフルが効きやすいインフルエンザウイルス

ウ 感染症発生動向調査（積極的疫学調査）

		合計	臨床検体	菌株
検体数		124	90	34
項目数		218	184	34
細菌	腸管出血性大腸菌	10	-	10
	劇症型溶血性レンサ球菌	1	-	1
	カルバペネム耐性菌	22	-	22
	バンコマイシン耐性腸球菌	1	-	1
	レジオネラ属菌	2	2	-
ウイルス	デングウイルス	10	10	-
	チクングニアウイルス	10	10	-
	ジカウイルス	10	10	-
	麻疹ウイルス	74	74	-
	風疹ウイルス	74	74	-
	インフルエンザウイルス *1	4	4	-

*1：インフルエンザによる市内初の学級閉鎖施設について検査を実施

エ 健康診断（結核を除く）

		検体数
項目		32
細菌	腸管出血性大腸菌	31
	パラチフス	1

オ 健康診断（結核）

		検体数
項目		176
結核	QFT（IGRA 検査）	168
	喀痰検査	8

(3) 食中毒検査

市内で発生した食中毒及び他の自治体で発生した食中毒に関連する検査を実施しました。

		合計	食品	ふきとり	便	その他 *1
検体数		36	0	19	16	1
項目数		547	0	314	232	1
内 訳	腸炎ビブリオ	32	-	19	13	-
	ビブリオ・フルビアリス	32	-	19	13	-
	ナグビブリオ	32	-	19	13	-
	ブドウ球菌	32	-	19	13	-
	セレウス菌	32	-	19	13	-
	ウェルシュ菌	32	-	19	13	-
	サルモネラ属菌	32	-	19	13	-
	腸管出血性大腸菌	32	-	19	13	-
	病原性大腸菌	32	-	19	13	-
	カンピロバクター	34	-	19	15	-
	エルシニア	32	-	19	13	-
	エロモナス	32	-	19	13	-
	プレジオモナス	32	-	19	13	-
	赤痢菌	32	-	19	13	-
	コレラ菌	32	-	19	13	-
	チフス菌	32	-	19	13	-
	ノロウイルス	23	-	10	13	-
	サポウイルス	0	-	-	-	-
	ロタウイルス	0	-	-	-	-
	アデノウイルス	0	-	-	-	-
アニサキス	1	-	-	-	1	
細菌 PCR 検査	9	-	-	9	-	

*1：アニサキス虫体

(4) 食品検査

生活衛生課の収去による行政検査や調査研究のための検査、また他課からの依頼による検査を実施しました。

ア 微生物学検査

	合計	魚介類及び その加工品	肉・卵類及び その加工品	乳類及び その加工品	アイスクリーム・ 氷菓・氷雪	穀類加工品	野菜類・果物及び その加工品	菓子類	清涼飲料水	弁当・惣菜・ 調理パン	レトルト食品	冷凍食品	ふきとり	その他 *1
検体数	324	25	5	0	13	25	51	44	15	93	7	45	0	1
項目数	745	25	13	0	26	75	131	130	19	227	7	90	0	2
細菌数	262	-	-	-	13	25	42	43	-	93	-	45	-	1
大腸菌群	116	5	2	-	13	3	23	44	15	-	-	10	-	1
E.coli	146	-	3	-	-	22	19	-	-	67	-	35	-	-
E.coli 最確数	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
黄色 ブドウ球菌	157	-	3	-	-	25	19	43	-	67	-	-	-	-
腸炎ビブリオ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腸炎ビブリ オ最確数	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サルモネラ 属菌	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腸管出血性 大腸菌 *2	28	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-
乳酸菌数	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クロスト リジウム属菌	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腸球菌	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
緑膿菌	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
カンピロ バクター属菌	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リステリア菌	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他 *3	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-

*1：粉末清涼飲料

*2：026、0103、0111、0121、0141 及び 0157

*3：当該容器包装詰加圧加熱殺菌食品中で発育しうる微生物

イ 理化学検査

(ア) 添加物等検査

	合計	魚介類及び その加工品	肉・卵類及び その加工品	乳類及び その加工品	アイスクリーム・ 氷菓・氷雪	穀類及び その加工品	野菜類・果物 及びその加工品	菓子類	清涼飲料水	酒精飲料	缶詰・びん 詰食品	弁当・惣菜・ 調理パン	レトルト食品	その他	
検体数	190	13	6	0	13	22	30	42	15	24	14	0	0	11	
項目数	2,712	221	21	0	26	22	465	720	363	372	263	0	0	239	
合成保存料	ソルビン酸	143	13	5	0	0	0	26	38	12	24	14	0	0	11
	デヒドロ 酢酸	143	13	5	0	0	0	26	38	12	24	14	0	0	11
	安息香酸	143	13	5	0	0	0	26	38	12	24	14	0	0	11
	パラオキシ 安息香酸	140	-	-	-	-	-	5	-	60	-	25	-	-	50
合成着色料	タール色素	1,512	156	-	-	-	312	456	144	144	168	-	-	132	
発色剤	亜硝酸根	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
漂白剤	亜硫酸	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合成甘味料	サッカリン ナトリウム	151	13	-	-	13	-	26	38	12	24	14	-	-	11
	アセスルファ ムカリウム	151	13	-	-	13	-	26	38	12	24	14	-	-	11
	スクラロース	24	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-
酸化防止剤	BHA	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	BHT	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	二酸化イオウ	24	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-
防ばい剤	オルトフェニル フェノール	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
	ジフェニル	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
	チアベンダ ゾール	6	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
	イマザリル	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
品質保持剤	プロピレン グリコール	22	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	
pH		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
重金属	スズ	5	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	
	鉛	13	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	1	
	カドミウム	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ヒ素	13	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	1	
酸価・過酸化物価		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ミネラル ウォーター類 成分規格	元素類	30	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	
	陰イオン	11	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	
	その他	29	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	
特定原材料	乳	5	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
指定外	サイクラミン 酸	35	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	-	
	TBHQ	35	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	-	
	着色料	60	-	-	-	-	-	-	-	60	-	-	-	-	

*ソース（缶詰・びん詰食品を除く）、たれ、粉末清涼飲料

(イ) 食品中の残留農薬

	農作物及びその加工品
検体数	43
項目数	8,702
EPN	40
XMC	40
アクリナトリン	40
アザコナゾール	31
アザメチホス	40
アジンホスメチル	40
アゾキシストロピン	41
アトラジン	40
アニコホス	40
アメトリン	40
アラクロール	40
アレスリン *2	26
イソキサチオン	40
イソフェンホス *1	40
イソプロカルブ	37
イソプロチオラン	40
イプロバリカルブ	40
イプロベンホス	40
イマザメタベンズメチルエステル *2	40
イマザリル	26
イミダクロプリド	40
イミベンコナゾール	0
インダノファン	40
インドキサカルブ	40
エスプロカルブ	40
エタルフルラリン	13
エチオン	40
エディフェンホス	40
エトキサゾール	25
エトフェンプロックス	28
エトプロホス	1
エポキシコナゾール	33
オキサジアゾン	40
オキサジキシル	39
オキサジクロメホン	40
オキサミル	40
オキシカルボキシ	40
オキシフルオルフェン	40
オリザリン	21

カズサホス	40
カフェンストロール	40
カルバリル	40
カルプロパミド	40
キナルホス	40
キノキシフェン	22
キノクラミン	40
キントゼン	13
クミルロン	40
クレソキシムメチル	40
クロキントセットメキシル	40
クロチアニジン	40
クロフェンテジン	40
クロマフェノジド	40
クロリダゾン	40
クオルタールジメチル	40
クオルピリホス	33
クオルピリホスメチル	33
クオルフェンピンホス *2	40
クオルプロファム	40
ククロスロン	40
ククロベンジレート	40
シアゾファミド	33
シアノホス	40
ジウロン	40
ジエトフェンカルブ	40
シクロエート	20
ジクロシメット *2	40
ジクロフェンチオン	33
シクロプロトリン	16
ジクロホップメチル	37
ジクロラン	33
シハロトリン *2	40
シハロホップブチル	40
ジフェナミド	40
ジフェノコナゾール *2	35
シフルトリン *2	40
シフルフェナミド	40
ジフルフェニカン	40
ジフルベンズロン	40
シプロコナゾール	31
シプロジニル	40

シベルメトリン *2	40
シマジン	37
シメコナゾール	40
ジメタメトリン	40
ジメチリモール	40
ジメテナミド	40
ジメトエート	40
ジメトモルフ	40
シメトリン	40
ジメピベレート	40
シラフルオフェン	0
スピノサド *3	0
スピロキサミン *2	0
ターバシル	40
ダイアジノン	40
ダイムロン	40
チアクロプリド	40
チアベンダゾール	40
チアメトキサム	40
チオベンカルブ	40
テクナゼン	4
テトラクロルピホス	40
テトラコナゾール	40
テトラジホン	33
テニルクロール	40
テブコナゾール	26
テブチウロン	40
テブフェノジド	40
テブフェンピラド	40
テフルトリン	33
テフルベンズロン	40
デルタメトリン及びトラロメトリン	40
テルブトリン	40
テルブホス	5
トリアジメノール *2	40
トリアジメホン	40
トリアゾホス	40
トリアレート	13
トリシクラゾール	16
トリチコナゾール	40
トリブホス	33
トリフルムロン	40

トリフルラリン	23
トリフロキシストロピン	40
トルクロホスメチル	40
トルフェンピラド	40
ナプロアニリド	40
ナプロパミド	40
ニトロタールイソプロピル	40
ノバルロン	40
パクロブトラゾール	40
パラチオン	40
パラチオンメチル	40
ハルフェンプロックス	28
ピテルタノール *2	35
ピフェノックス	40
ピフェントリン	33
ピペロホス	40
ピラクロホス	40
ピラゾホス	40
ピラゾリネート	40
ピラフルフェンエチル	37
ピリダフェンチオン	40
ピリダベン	33
ピリフェノックス *2	19
ピリフタリド	40
ピリブチカルブ	40
ピリプロキシフェン	33
ピリミカーブ	40
ピリミノバックメチル *2	40
ピリミホスメチル	40
ピリメタニル	40
ピロキロン	40
ピンクロゾリン	40
フィプロニル	40
フェナミホス	36
フェナリモル	40
フェニトロチオン	40
フェノキサニル	40
フェノキシカルブ	40
フェノチオカルブ	40
フェノトリン *2	24
フェリムゾン	40
フェンアミドン	33

フェンスルホチオン	40
フェントエート	40
フェンバレレート *2	40
フェンピロキシメート	19
フェンピロキシメート (Z)	40
フェンブコナゾール	40
フェンプロパトリン	40
フェンプロピモルフ	40
フサライド	28
ブタクロール	40
ブタフェナシル	40
ブタミホス	40
ブピリメート	40
ブプロフェジン	33
フラムプロップメチル	40
フラメトピル	40
フルアクリピリム	40
フルキンコナゾール	40
フルシトリネート *2	40
フルトラニル	40
フルバリネート *2	40
フルフェノクスロン	40
フルミオキサジン	40
フルリドン	40
プレチラクロール	40
プロシミドン	40
プロチオホス	28
プロパキザホップ	40
プロパジン	40
プロパニル	40
プロピコナゾール *2	40
プロピザミド	40
プロヒドロジャスモン *2	29
プロフェノホス	40
プロポキスル	40
プロマシル	40
プロメトリン	40
プロモプロピレート	40

プロモホス	33
ヘキサコナゾール	16
ヘキサジノン	40
ヘキサフルムロン	21
ヘキシチアゾクス	40
ベナラキシル	40
ベノキサコール	40
ペルメトリン *2	28
ペンコナゾール	35
ペンシクロン	40
ベンゾフェナップ	40
ベンダイオカルブ	40
ペンディメタリン	33
ペントキサゾン	40
ベンフルラリン	18
ベンフレセート	40
ホサロン	40
ボスカリド	40
ホスチアゼート *2	40
ホスファミドン *2	40
ホスメット	40
マラチオン	42
マイクロブタニル	40
メタベンズチアズロン	40
メタミドホス	7
メチダチオン	40
メトキシクロール	40
メトキシフェノジド	40
メトラクロール	40
メビンホス	18
メフェナセット	40
メフェンピルジエチル	40
メプロニル	40
モノクロトホス	40
モノリニューロン	40
リニューロン	40
ルフェヌロン	40
レナシル	40

*1: イソフェンホスはイソフェンホスとイソフェンホスオキシソンの和

*2: 異性体の和

*3: スピノサドはスピノシンAとスピノシンDの和

(ウ) 畜水産食品中の動物用医薬品

		合計	食肉・鶏卵	魚介類および その加工品
検体数		21	10	11
項目数		284	142	142
サイ イ ク リ ン 系 抗 生 物 質	オキシテトラサイクリン	16	10	6
	クロルテトラサイクリン	16	10	6
	テトラサイクリン	16	10	6
合 成 抗 菌 剤	スルファジミジン	12	6	6
	スルファモノメトキシ	12	6	6
	スルファチアゾール	12	6	6
	スルファジメトキシ	12	6	6
	スルファキノキサリン	12	6	6
	スルファメラジン	12	6	6
	スルファクロルピリダジン	12	6	6
	スルファジアジン	12	6	6
	スルファドキシ	12	6	6
	スルファニトラン	12	6	6
	スルファピリジン	12	6	6
	スルファメトキサゾール	12	6	6
	スルファメトキシピリダジン	12	6	6
	チアンフェニコール	12	6	6
	エトバベート	12	6	6
	オルメトプリム	12	6	6
	トリメトプリム	12	6	6
	5-フ°ロピ°ルスルフォニル-1H-ベンズ°イミダ ゾ°ル-2-アミン	12	6	6
	マラカイトグリーン	5	0	5
	ロイコマラカイトグリーン	5	0	5
駆 虫 剤	フルベンダゾール	4	4	0
	レバミゾール	6	0	6

(エ) 器具容器包装

	合計	金属缶	ガラス瓶
検体数	3	3	0
項目数	21	21	0
カドミウム	3	3	0
鉛	3	3	0
ヒ素	3	3	-
蒸発残留物	3	3	-
フェノール	3	3	-
ホルムアルデヒド	3	3	-
エピクロルヒドリン	3	3	-

(オ) いわゆる健康食品の医薬品成分検査

検体数	項目数	検査項目						
		シルデナフィル	バルデナフィル	タダラフィル	ホンデナフィル	フェンフルラミン	N-ニトロソフェンフルラミン	シブトラミン
5	35	5	5	5	5	5	5	5

(5) 環境検査

ア 水質検査

	合計	上水道	専用水道	簡易水道	簡易水道専用	小規模水道	井戸水	受水型小規模水道	その他の飲料水	プール水	浴槽水	採暖槽	工場排水	地下水	その他水質*1
検体数	244	16	0	0	0	12	29	1	13	0	92	14	14	40	13
項目数	1,899	252	0	0	0	180	410	18	156	0	329	14	207	160	173
一般細菌数	70	16	-	-	-	12	28	1	13	-	-	-	-	-	-
大腸菌群	79	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79	-	-	-	-
大腸菌群数	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大腸菌	70	16	-	-	-	12	28	1	13	-	-	-	-	-	-
レジオネラ属菌	106	-	-	-	-	-	-	-	-	-	92	14	-	-	-
亜硝酸態窒素	66	16	-	-	-	12	27	1	10	-	-	-	-	-	-
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	66	16	-	-	-	12	27	1	10	-	-	-	-	-	-
塩化物イオン	66	16	-	-	-	12	27	1	10	-	-	-	-	-	-
全有機炭素(TOC)の量	66	16	-	-	-	12	27	1	10	-	-	-	-	-	-
過マンガン酸カリウム消費量	79	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79	-	-	-	-
鉄	73	16	-	-	-	12	27	1	10	-	-	-	-	-	7
総硬度	66	16	-	-	-	12	27	1	10	-	-	-	-	-	-
pH	84	16	-	-	-	12	27	1	10	-	-	-	14	-	4
臭気	80	16	-	-	-	12	27	1	10	-	-	-	14	-	-
味	66	16	-	-	-	12	27	1	10	-	-	-	-	-	-
色度	66	16	-	-	-	12	27	1	10	-	-	-	-	-	-
濁度	145	16	-	-	-	12	27	1	10	-	79	-	-	-	-
アンモニア性窒素	66	16	-	-	-	12	27	1	10	-	-	-	-	-	-
残留塩素	66	16	-	-	-	12	27	1	10	-	-	-	-	-	-
蒸発残留物	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
銅	24	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	7	-	11
亜鉛	24	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	7	-	11
鉛	19	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	12
総トリハロメタン	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BOD	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-
その他*2	439	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	151	160	128

*1：行政検査及び排水自主検査を含む

*2：溶解性鉄、溶解性マンガン、マンガン、ニッケル、クロム、カドミウム、ヒ素、セレン、アルミニウム、六価クロム、フッ素、ホウ素、シアン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、ベンゼン、1,4-ジオキサン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、アンモニア等、COD、SS、ノルマルヘキサン抽出物、よう素消費量、総水銀、温度、外観

イ 家庭用品

	合計	繊維製品	接着剤	洗浄剤	噴霧剤	その他
検体数	60	58	0	1	1	0
項目数	148	143	0	4	1	0
ホルムアルデヒド	58	58	-	-	-	-
メタノール	1	-	-	-	1	-
有機水銀	1	1	-	-	-	-
アゾ化合物	84	84	-	-	-	-
塩化水素・硫酸	0	-	-	-	-	-
水酸化ナトリウム・ 水酸化カリウム	1	-	-	1	-	-
ディルドリン	0	-	-	-	-	-
落下試験	1	-	-	1	-	-
漏水試験	1	-	-	1	-	-
圧縮変形試験	1	-	-	1	-	-

ウ その他の環境検査

大気的环境保全に関する検査として、悪臭の検査を実施しています。令和元年度の実績は0件でした。

(6) 放射性物質に関する検査

食品、簡易水道等から供給される水等の放射性物質に関する検査を実施しました。

	検体	検体数	項目数
食品検査	学校給食（事前検査）	32	128
	農林畜産物	11	33
	行政検査	20	60
	市民持ち込みによる放射性物質検査	3	9
	小計	66	230
飲料水（簡易水道等）検査		20	60
その他	清掃施設関連	14	42
	土壌	0	0
	堆肥	0	0
	調査研究	0	0
	小計	14	42
合計		100	332

(7) 苦情品検査

生活衛生課等に相談があった苦情のうち、必要に応じて微生物及び理化学等検査を実施しています。検査項目別内訳は次のとおりです。

	合計	食材	ふき取り	便	水	異物	その他
検体数	16	4	-	-	-	12	-
項目数	39	14	-	-	-	25	-
食中毒菌等	-	-	-	-	-	-	-
細菌数等 *1	6	6	-	-	-	-	-
鏡頭・目視（形状等の確認）	13	1	-	-	-	12	-
蛍光X線検査	7	-	-	-	-	7	-
赤外分光光度計検査	2	-	-	-	-	2	-
カタラーゼ試験	2	-	-	-	-	2	-
カルシウム試験	2	-	-	-	-	2	-
燃焼試験	1	1	-	-	-	-	-
その他 *2	6	6	-	-	-	-	-

*1：細菌数、E.Coli、黄色ブドウ球菌

*2：ヘッドスペース GC-MS、PH測定器、官能検査（臭気）、粘性確認

(8) 精度管理検査

食品検査は、食品検査の業務管理（GLP）に基づく内部精度管理及び外部精度管理、感染症検査は厚生労働省が行う外部精度管理、水質検査は内部精度管理並びに神奈川県、厚生労働省及び環境省が行う外部精度管理に参加しました。

		合計		内部精度管理		外部精度管理	
		検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
合計		474	7,659	427	7,569	47	90
食品検査	理化学	404	7,401	384	7,381	20	20
	細菌	20	31	16	27	4	4
感染症検査	細菌	11	41	-	-	11	41
	ウイルス	9	21	2	2	7	19
水質検査		30	165	25	159	5	6

(9) 衛生研究所の主要機器整備状況

No.	機器名称	機器メーカー	型式
1	ガスクロマトグラフ (ECD、FID)	島津製作所	GC-2014
2	ヘッドスペース付ガスクロマトグラフ 質量分析計	Agilent Technologies	Agilent 7890A/5975C
3	ガスクロマトグラフ質量分析計	Agilent Technologies	Agilent 7000D/7890B
4	高速液体クロマトグラフ	Agilent Technologies	Agilent HP1260 Infinity
5	液体クロマトグラフ質量分析計	SCIEX	QTRAP4500
6	GPC 前処理装置	島津製作所	Prominence
7	誘導結合プラズマ質量分析装置	Agilent Technologies	Agilent 7700X
8	分光光度計	日立	U-2900
9	分光光度計	島津製作所	BioSpec-nano
10	紫外可視分光光度計	島津製作所	UV-1800
11	原子吸光光度計	島津製作所	AA-7000
12	イオンクロマトグラフ	ダイオネクス	ICS-1600
13	陽イオン分析用イオンクロマトグラフ (シアンポストカラム付)	Thermo Fisher Scientific	Integrion, AS-SP, PCM520
14	全有機体炭素計	島津製作所	TOC-V CPN
15	水銀濃度計	日本インスツルメンツ	RA-3A
16	DNA シーケンサー	アプライドバイオシステムズ	3500-250-BA04 GeneticAnalyzer
17	PCR 遺伝子増幅装置	アプライドバイオシステムズ	Gene Amp PCR System 9700
18	PCR 遺伝子増幅装置	タカラ	TP600
19	PCR 遺伝子増幅装置	タカラ	TP650
20	PCR 遺伝子増幅装置	アプライドバイオシステムズ	ProFlex PCR System 3×32Well
21	リアルタイム PCR システム	アプライドバイオシステムズ	QuantStudio5
22	リアルタイム PCR システム	アプライドバイオシステムズ	7500Fast システム
23	リアルタイム PCR システム	アプライドバイオシステムズ	7500Fast システム
24	パルスフィールド電気泳動装置	バイオラッド	CHEF DR システム
25	蛍光・可視光イメージング装置	ATTO	WSE-5200 Printgraph2M
26	生物顕微鏡	オリンパス	BX50
27	ゲルマニウム半導体検出器	セイコー・イージー・アンドジー	GEM20P4-70
28	赤外分光光度計	日本分光	FT/IR-4600
29	蛍光 X 線分析装置	日立ハイテク	EA6000VX

3 衛生に係る調査研究

(1) 国との共同研究事業

「マスギャザリング時や新興・再興感染症の発生に備えた感染症サーベイランスの強化とリスクアセスメントに関する研究」(研究期間：平成30年4月1日～令和3年3月31日)を実施しています。

(2) デング熱等媒介蚊のサーベイランス

デングウイルス等を媒介するヒトスジシマカ雌のウイルス保有状況調査を実施しました。採集後の蚊を分類した後、デングウイルス、チクングニアウイルス及びジカウイルスの遺伝子検査を実施したところ、いずれも陰性でした。

		月別採集数(ヒトスジシマカ雌数)				
		6月	7月	8月	9月	10月
合計		16	4	11	15	6
採集場所	相模原北公園(緑区)	3	-	6	-	2
	相模湖林間公園(緑区)	-	0	-	6	-
	淵野辺公園(中央区)	2	0	4	4	3
	相模大野中央公園(南区)	11	4	1	5	1
遺伝子の 検出結果	検体数*	3	1	3	3	3
	デングウイルス	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
	チクングニアウイルス	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
	ジカウイルス	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性

実施時期：令和元年6月～10月

実施箇所：市内各区一箇所の公園(緑区は2箇所の公園を隔月で実施)

実施方法：人囿法

* 各公園内1定点で採集された蚊を定点ごとにまとめて検体としている。

4 公衆衛生情報の収集、解析及び提供

感染症情報センターから感染症情報を発信し、市民への注意喚起を図りました。

ア 週報発信 52回

イ 月報発信 12回

5 衛生研究所内研修

職員の資質向上のため民間等より講師を招き、研修を実施しました。

No.	表題	講師
1	電気泳動法研修	所内講師
2	LCMSMSトレーニング	株式会社エービーサイエックス
3	AED/CRP	セコム株式会社
4	LCMSMSトレーニング2	株式会社エービーサイエックス
5	残留農薬検査STQ法	所内講師
6	新型コロナウイルス検査法について	所内講師
7	自動核酸抽出装置について	株式会社キアゲン
8	理化学報告会（伝達研修）	所内講師